

6/20

糾弾アピール

全学連支持会議

学友諸君、

またまた全共ヨ一系による気証いじみた暴力と民主主義の破壊が行なわれた。昨日の「全共ヨ一系の法学部集会妨害を自身の怒りをもって糾弾する」というにも明らかにしたように、彼らは昨日二〇〇から予定されていた法学部集会（主催は集会実行委員会、法西、刑法ゼミ）の会場（法学部教室）の鍵をうばい、ドアを封鎖した。そして、ヘルメットとガバ棒、一メートルの鉄棒（ふりまわしやす）いようにもがついており、兎に角新鋭がころころいていって完全戦線して全共ヨの暴力団がドヤの手回りをウロツキまわっていた。そして、集会参加に結果した百数十名の学友の間にデモでおこかけ、その集会を暴力的に破壊してきた。そして彼らは、彼らに糾弾の声を上げた学友にとびけり、鉄パイプで数十回おこかけまわし倒れた所をなぐりかかったり、一人が体をおさえつけ、一人が鉄パイプで両太ももをなぐるなど数かきりないうるは行なわれていた。この為一人の学友は10日間歩行不能態になつたり、手をけがしたりした。そして、また、マイクで糾弾の声を上げた学友を数人でおこかけまわした。彼らは警官のようにヒョロヒョロの鉄パイプを腰につりさげ、その姿はまさに学内の民主主義を圧殺してゆく自衛隊の姿そのものであった。ある学友は「これでは全共ヨが制服を着れば市大は立憲が実施される大学のような感じと怒りをぶちまけていた。

学友諸君、

市大の民主化斗争、民主主義を圧殺する大学立憲新鋭の斗争を、我々は斗い、斗おうとしてゐるのではないのか？ 民主主義の敵対者を学内から、全国の大学から追放してゆく斗いをやっているのでないのか。全共ヨと革新クルースの連中の側はまちまちもなく、デモを弾圧する行動隊のものであった。断じて、このように暴力を許してはならない。この斗争にあまぐん見だつて容認したりする者はすべて民主化を語る資格などもない。許さぬ。

「またまた内ゲバなどの三流ジャーナリズムムバリの無責任な態度で、学内における暴力、民主主義の圧殺を見ることは許されぬ。

クラス、サークルから糾弾の声を上げよう。

学友諸君、

全共ヨ一系と革新の封サ、暴力運動とそれをあいまいにし、全共ヨを擁護する民衆同の窮乏をはねのけ、封鎖糾弾、立憲新鋭ノ投棄利用ノ民主化実現ノ斗いに立ち上ろう。われわれは全共ヨの暴力に抗してあくまで斗争的である。

昨日の法学部集会に全共斗の暴力的なぐり

こみ！ 数名の学友が負傷！

民主主義の圧殺者＝全共斗！鉄パイプで襲う！

6.21

市大総決起
二、〇〇六

大阪一万人集会

二、〇〇〇 羽町公園